

恒久平和を願い沖繩へ

平和祈念公園群馬之塔へ折鶴献納



連合平和沖繩派遣団は、6月23日から組織の枠を超え、連合埼玉と協同で実施

しました。群馬から9名、連合埼玉の11名の一団は、初日、連合平和オキナワ集会へ参加し、次代へ向けた青年委員からの報告や目には見えない沖繩の肝心（=ちむぐくる）を伝える嶋原さんからの語り部学習、翌日は糸数アブチラガマや平和祈念公園・資料館など沖繩戦の惨禍に触れることで、失われた命を悼む想いや、平和を祈る切実な心を体感しました。

齋藤 孝昭さん
連合群馬北部地協/J R 東労組



沖繩には単組の研修として数多く訪れていますが、連合として参加したのは初めてです。初日の平和式典

には1,000名の参加があり、連合組織の大きさを感じるとともに、講演をしていただいた嶋原さんの「おばー」の感情を入れた様子は心を打たれました。さらに、「未来は変えることができる」というメッセージは、私たちがこの行動を終えたあとに職場や家庭などでどのように伝えていくかが大事になってくると実感しました。2日目の戦跡めぐりは、当時の状況を追体験することが出来ました。また、資料館の展示物は胸に刺さるものがあり、戦争の悲惨さを感じることができました。

小川 剛さん 連合群馬議員懇談会 安中市議会議員

平和行動約1ヵ月前の5月19日、罪もない20歳の女性を殺害した容疑で元米海兵隊員が逮捕されました。



沖繩平和行動は2回目、前回の参加から6年経過しますが、沖繩県民の負担は多く残り改善されない状況に改めて憤りを覚えます。

71年前の沖繩地上戦で約20万人の方が亡くなり多くの民間人が犠牲になりました。71年経った今でも、沖繩には国内の米軍専用施設の74%が集中している現状や米兵有利の日米地位協定があり改善を急がねばならず、沖繩県民は平和で安心して安全に暮らせる島にするため戦っています。我々も県民の痛みの声に耳を傾け、71年前に起きた戦争の悲惨な状況、沖繩県民の置かれている現状を多くの方に伝えていきたいと思えます。

女活法促進など労働局へ申し入れ!

連合「男女平等月間」の取り組みの一環として、6月19日に女性活躍推進法促進やあらゆるハラスメントの積極的な対応など女性活躍に向け、男女平等参画推進委員長の佐藤副会長より厚生労働省・群馬労働局雇用環境・均等室の宮村室長に申し入れを行いました。

宮村室長より「県内では300人以上企業においても8社が実行計画を策定している。他社への波及に努めたい。所管業務も広がり、企画室と均等室が統合され、それぞれの強みを活かし、取り組みの強化を行いたい。」と挨拶がありました。



労働局・連合群馬が一体となって男女ともに働きやすい職場環境を実現するため認識を共有するとともに、意見交換を行いました。

組織拡大を目指し共に推進を!

組織拡大強化月間の取り組みのひとつとして、組織アドバイザーが各地協を訪問し、組織拡大への積極的な参画と情報提供を呼びかけました。アドバイザーからは連合群馬では2020年までに組合員12.5万人を目標に取り



組みを進めているものの、実情は組合員数を維持するのがやっとの状態。また労働相談をきっかけとする組織化に取り組んでいるが、組合作りに繋がるような相談は少ないのが現状です。

それぞれの組織が仲間を増やす取り組みを推進して頂くとともに、情報提供をして欲しいと訴えました。すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現に向けては、仲間を増やし運動を前進させることが必要です。一人ひとりが組織拡大への意識を高め、取り組みを推進させましょう。

第24回参議院議員選挙
ご支援ありがとうございました。

7月10日投開票で施行された参議院選挙は、群馬県選挙区 堀越 けいじん氏を支持候補として取り組みを行いました。残念ながら当選を果たすことができませんでした。

また、比例選挙区では、連合推薦候補者12名のうち8名が当選を果たすことが出来ました。

この間の構成組織・地協のご支援とご協力に感謝申し上げます。

衆議院議員選挙 連合群馬推薦候補予定者

6月14日第8回執行委員会で、3名の推薦が決定されました。

第1区 宮崎 岳志

第3区 長谷川 嘉一



第4区 不破 弘樹

